

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020030

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B		
単位施策	1	推進体制の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	社会体育団体活動費助成事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	団体数			#N/A		
事業目標	体育連盟～20 スポーツ少年団～4		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	スポーツ団体の加入・育成	関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
全体計画 事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	体育連盟・スポーツ少年団の育成、活動支援に努めるとともに自主的、主体的な活動を促す。	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)	体育連盟(400千円) スポーツ少年団(140千円)
	体育連盟・スポーツ少年団への活動費助成					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	2,700	540	540	540	540
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	2,700	540	540	540	540	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,080	540	540	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	1,080	540	540			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		体育連盟 400千円 少年団 140千円	体育連盟 400千円 少年団 140千円		
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2団体への助成	2団体への助成	2団体への助成	2団体への助成
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	100%	0%	0%
	全体達成率	20%	40%	40%	40%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	社会体育団体活動費助成事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	佐藤 公 輔

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	加盟団体の維持	
【抱える課題やニーズは】	各団体の会員減少により活動が低下しつつある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	自主財源の確保が難しいことから、活動費の助成を行うことにより、主体的な活動を促す。	① 体育連盟加盟団体数	目標年度	平成26年度
			目標値	16 団体
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	各団体が主体的に活動を行うことにより、町民の関心を高めるとともに、地域への活性化を図る。	② スポーツ少年団加盟団体数	実績値	15 団体
			達成度	93.8 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	体育連盟、スポーツ少年団への助成	実施報告書・計画書を求め、内容を精査し助成する。(体育連盟400千円・スポーツ少年団140千円)		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本町の生涯スポーツを推進する基幹団体であり、スポーツ活動を通じ町民の交流を深める役割を果たし、将来の指導者を育成することも目的としている。また、町の活性化にも繋がることから、各単位団体を育成・支援することが必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	町内を会場とした大会開催など、主体的な活動に取り組んでいる。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各団体の事業に対し、適切な活動費の助成を行っている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	実施報告書・計画書など、活動内容を助成しており、各団体の事業ごとに町民参加を呼び掛けている。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
本町のスポーツ活動の中心的役割を担っている団体への補助は、生涯スポーツを推進する上で重要である。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
スポーツは、社会の活性化を促進させるとともに、人と人、地域間の交流を深める有効な手段である。また、少年団活動は、協調性や競争意識などを養う場であることから、今後も活動支援が必要である。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止